

あさがおのかんさつで【小学校低学年】

- 1 **主題名** よいことと悪いことをよく考えて **内容項目** A 善悪の判断、自律、自由と責任
- 2 **ねらい** 写真を撮られた時の感じ方の違いを話し合うことを通して、してはならないことに気付く、よいことと悪いことをよく考え、正しく行動しようとする判断力を育てる。
- 3 **展開例**

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導 入	1 学習課題について考えをもつ。 ・「してよいこと？わるいこと？」クイズをします。選んだ理由を言いましょう。	・児童の身近なことと関連させながら問題意識をもたせ、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図る。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「よいこととわるいこと」についてみんなで考えましょう。 </div>	
展 開	2 教材「あさがおのかんさつで」を聞き、話し合う。 (1)みきとたけしの顔をタブレットで撮っているまりは、どんな気持ちだったのでしょうか。 (2)おこったようなたけしを見て、何も言えなくなってしまったまりは、どんなことを考えていたのでしょうか。 (3)どんな思いで、まりは、たけしにあやまっていたのでしょうか。 (4)次の日あさがおの観察をしているまりは、どんな気持ちで写真を撮っていたのでしょうか。 3 自己を見つめ、振り返る。 よいことと悪いことをよく考え正しく行動することについてこれまでの自分を振り返る。	・してよいことと悪いことを考え、正しく行動するためにはどんな気持ちが必要か考えることを伝える。 ・相手の思いを考えず、自分の思いだけで行動してしまうまりの気持ちについて、人間理解を深める。 ・思いがけずたけしがおこっている様子に、気持ちが揺れ動き、悩み、考え始めるまりの気持ちとたけしの思いを考えさせる。 ・相手の思いを考えずに行動したことが、相手を傷つけてしまうことになってしまったと気付いたまりの思いに触れ、今後はよく考えて正しく判断していこうとする思いにつなげる。 ・役割演技を行い、児童の思いを表現することもよい。 ・よいことと悪いことを正しく区別し、よく考えて行動していこうとするまりの思いに共感させる。 ・学習したことから、正しく善悪の判断をして行動することについて自分との関わりで考える。自分のタブレット内の写真を見ながら振り返ることもよい。
終 末	4 教師の説話を聞く。	・彩の国のどうとく「してはならないことがある」を取り上げ、価値理解を広げる。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

本教材の作成の意図は、善いことと悪いことを正しく区別し、行動することの大切さについて考えさせることである。1人1台端末の活用により、端末を用いて写真を撮り、記録したり写真をもとに話し合ったりする学習も低学年から取り込まれるようになった。それに伴い、悪気はなくても、撮った写真が思わず相手を傷つけてしまう等、今まで起こらなかったトラブルが起こることも想定される。

指導にあたっては、主人公だけでなく、相手方の思いについても多面的に考えを深めることで、人により感じ方が違うことに気付かせたい。また、先生の「よく考えて」の言葉の意味を考えることで、何でも撮ってよいわけではないことについて、児童の考えを深めていけるよう話し合いを展開していきたい。事前指導として、生活科等と関連させ、タブレットで写真を撮る活動を行っておくと、より自分との関わりで考えることにつながる。本教材は、今後、肖像権や著作権、個人情報保護法等の理解につながっていく教材である。